

Departure OC I Revised Edition

センター試験リスニングテスト対策



小森清久

2008年度本試験では、単に発話内容を聴き取り理解するだけでなく、比較的長い選択肢を速く読み正確に理解する力も一層求められている。昨年度と比較すると以下ようになる。

	平均点	本文総語数	設問総語数	平均速度
07	32.47	1010 words	525 words	161 wpm*
08	29.45	1086 words	563 words	159 wpm

大問ごとの速度は一樣ではないが、全体的に音声は聞き取りやすい。対話文は問題別に複数のアメリカ人の男女によって読み上げられているようである。（*wpm: words per minute「毎分語数」）

日常生活や学生生活などをテーマとして扱った対話形式中心の出題である。選択肢の英文が長いものや、設問がよく練られているため最後まで集中して聴かないと誤答を招きやすい問題が散見される。以下、どんな問題で差がついたのかを設問別に分析し、大問別に網羅した対策とリスニング・ストラテジーに配慮した *Departure* を使った指導法を考えてみた。

■第1問 対話文イラスト選択問題 (146wpm)

問4 How much are the stamps?

- ① \$2.50 ② \$5.10 ③ \$17.50 ④ \$20.00

(スクリプト) W: Hi, I'd like five ten-cent stamps and two one-dollar stamps, please.

M: All right. Anything else?

W: No, but I only have a twenty-dollar bill.

M: No problem.

分析 問4「切手の値段」がテーマ。数字の聴き取りと計算がポイント。平均正答率約20%と推測。女性の最初の発話にある... I'd like five ten-cent stamps and two one-dollar stamps, please.

の箇所を正確に聴き取る。ここで、女性の最後の発話にある... but I only have a twenty-dollar bill. に、引きずられて④ \$20.00を選択しないこと。通例、but で話の流れが変わるので注意が必要だが、ここでは質問と無関係の情報であるので、この発話内容に引きずられないように注意する必要がある。④の誤答は下位レベルで20%程度あったと推測。一方で、女性の発話にある数字の聴き取りが正確にできなかったことによる③の誤答が全体平均約40%と推測。上位レベルほど「計算」をしようとした痕跡が伺えるが、下位レベルでは聞こえた数字で答える傾向が強いことを示している。(答①)

第1問型の対策 事前に質問文とイラスト・数字・文字などに目を通しておき、聴き取りのポイントを予測しておくこと。数字などの聴き取りは、メモを取った後で、計算するなど工夫をすることで対策できる。

指導のポイント *Departure* の Lesson7 How much is it? で生徒がペアとなり客と店員などのロールプレイを通して数字の聴き取りと計算の練習をさせる。第1問型はイラスト中心の問題なので、その練習には、「視覚ストラテジー」が有効。

■第2問 対話文応答完成問題 (171wpm)

問11 ① So, what have you learned to make so far?

② So, what should I make at the school tonight?

③ So, when are you going to start taking lessons?

④ So, why did you miss the lesson tonight?

(スクリプト) W: Oh, I almost forgot. I've got a cooking lesson tonight.

M: You're going to cooking school?

W: Yeah! It's really fun!

分析 「楽しい料理学校」がテーマ。平叙文の発話に対する応答を選ぶのがポイント。平均正答率約40%と推測。女性の最初の発話にある I've got a cooking lesson tonight. と女性の最後の発話にある Yeah! It's really fun! から適切な応答を選ぶ。事前に選択肢を分類すると、②、③は未来の内容、④は女性の最初の発話と矛盾することに気づく。選択肢が発話から聞こえてくる音を含んでいるので、引きずられないように注意する必要がある。女性の最初の発話にある a cooking lesson につられて、選択肢③の誤答が下位レベルで50%と推測。下位レベルほど、単に聞こえた言葉で応答していることがわかる。(答①)

第2問型の対策 文法・構文的なつながりより、内容的なつながりに重点を置くため、柔軟な応答力が求められる。特に、最後に聞こえてくる発話内容(平叙文、Yes/Noの疑問文、5W1Hの疑問文の3タイプ)に集中し、事前に質問文と選択肢に目を通しておき、聴き取りのポイントを予測しておくことが高得点につながる。

指導のポイント 第2問型練習は、*Departure* 「文脈ストラテジー」で内容を予測する力をつけさせる。

■第3問 A 対話文質問完成問題 (174wpm)

第3問A型の分析と対策 問14、問15は、事前に質問文と選択肢に目を通しておき、聴き取りのポイントを絞り込んでおけば、状況理解が比較的容易であると思われる。平均正答率は50%以上あったと推測できるが、下位レベルでは問15、問16の正答率が20%前後と推測。

指導のポイント 第3問A型の練習は、*Departure* の「スキミング」を用いて、必要な情報に集中して聴き取る力をつけさせる。

■第3問 B 会話文図表完成問題 (178wpm)

第3問B型の分析と対策 150語程度の対話を聴き、「集合写真」の中の3人の男女の位置を特定する問題。服装、持ち物、位置関係を表す語句に注意して聴くと解きやすい。読み上げ速度が第2

問型に比べ平均速度がさらに速くなっているが、平均正答率は比較的高く70%と推測。事前に質問内容をよく吟味し、的を絞って聴き取ると高得点につながる。

指導のポイント 第3問B型の練習は、*Departure* の「視覚ストラテジー」で時間の推移と場面の展開を捉える力をつけさせる。

■第4問 A 短文内容把握問題 (148wpm)

第4問A型の分析と対策 90~100語程度のモノローグの英文を聴き、質問に対する答えを選択する問題。日常生活に関連したテーマが多いので、状況は比較的理解しやすいが、情報を整理して聴かないと誤答を招きやすい。読み上げ平均速度は第2、3問型に比べゆっくりである。事前に質問と選択肢に目を通し、場面の状況を推測しておく。細部の聴き取りにとらわれ過ぎ、全体が理解できないことにならないように注意する。

指導のポイント 第4問A型の練習は *Departure* の「スキミング」を用いると、知りたい情報を聴き取る力をつけさせることができる。さらに、英語のニュースなどを用いて「スキミング」の練習をさせるのも一考。

■第4問 B 長文内容把握問題 (154wpm)

第4問B型の分析と対策 200語程度のモノローグの英文を聴き、質問に対する答えを選択する問題。今回は「お土産にもらった観賞用ハワイアン・レッド・シュリンプ」がテーマ。聴き取りの英文自体は平易で、内容にはストーリー性があり、おもしろい。読み上げ平均速度は昨年(150wpm)よりやや速い。事前に質問と選択肢に目を通し、内容を推測し、的を絞った聴き取りをする。普段の聴き取り練習では、読み上げられる英文を倍速で聴かせたり、聞こえてくる発話をほぼ同時に口頭で再生したりする練習(シャドーイング)が効果的。

指導のポイント 第4問B型の練習は *Departure* の「スキミング」を用いると、大意を聴き取る力をつけさせることができる。

(こもり きよひさ・河合塾講師)